

# MC3400/MC3450

モバイル コンピュータ



**ZEBRA**

## クイック スタート ガイド

2024/08/29

ZEBRA および図案化された Zebra ヘッドは、Zebra Technologies Corporation の商標であり、世界各地の多数の法域で登録されています。その他のすべての商標は、該当する各所有者が権利を有しています。©2024 Zebra Technologies Corporation および/またはその関連会社。無断複写、転載を禁じます。

本書の内容は、予告なしに変更される場合があります。本書で説明するソフトウェアは、使用許諾契約または秘密保持契約に基づいて提供されます。本ソフトウェアの使用またはコピーは、これらの契約の条件に従ってのみ行うことができます。

法的事項および所有権に関する表明の詳細については、以下を参照してください。

ソフトウェア: [zebra.com/informationpolicy](https://zebra.com/informationpolicy).

著作権および商標: [zebra.com/copyright](https://zebra.com/copyright).

特許: [ip.zebra.com](https://ip.zebra.com).

保証: [zebra.com/warranty](https://zebra.com/warranty).

エンドユーザー ソフトウェア使用許諾契約: [zebra.com/eula](https://zebra.com/eula).

## 使用の条件

### 所有権の表明

本書には、Zebra Technologies Corporation およびその子会社 (「Zebra Technologies」) に所有権が属している情報が含まれています。本書は、本書に記載されている機器の操作および保守を行うユーザーに限り、情報の閲覧とその利用を目的として提供するものです。当社に所有権が属している当該情報に関しては、Zebra Technologies の書面による明示的な許可がない限り、他の目的で利用、複製、または第三者へ開示することは認められません。

### 製品の改善

Zebra Technologies は、会社の方針として、製品の継続的な改善を行っています。すべての仕様や設計は、予告なしに変更される場合があります。

### 免責条項

Zebra Technologies では、公開されているエンジニアリング仕様およびマニュアルに誤りがないように、万全の対策を講じていますが、まれに誤りが発生することがあります。Zebra Technologies は、かかる誤りを修正する権利を留保し、その誤りに起因する責任は負わないものとします。

### 責任の限定

業務の逸失利益、業務の中断、業務情報の損失などを含めて、またはこれらに限定することなく、当該製品の使用、使用の結果、またはその使用不能により派生した損害に関しては、いかなる場合でも、Zebra Technologies、あるいは同梱製品 (ハードウェアおよびソフトウェアを含む) の開発、製造、または納入に関与したあらゆる当事者は、損害賠償責任を一切負わないものとします。さらにこれらの損害の可能性を事前に指摘されていた場合でも、損害賠償責任を一切負わないものとします。一部の法域では、付随的または派生的損害の除外または制限が認められないため、上記の制限または除外はお客様に適用されないことがあります。

## デバイスの開梱

初めてデバイスを開梱するときは、以下の手順に従ってください。

1. デバイスを覆っている保護材をすべて慎重に取り外して、後で保管や搬送に使用できるように梱包箱を保管しておきます。
2. 次のアイテムがパッケージに入っていることを確認します。
  - モバイル コンピュータ
  - ハンドストラップ (ストレート シューター構成の場合のみ)
  - リチウムイオン バッテリ
  - 規制ガイド
3. 破損している機器がないかどうかを確認してください。不足または破損している機器がある場合は、ただちにグローバル カスタマー サポート センターにお問い合わせください。
4. デバイスを初めて使用する前に、スキャン ウィンドウ、ディスプレイ、カメラ ウィンドウを覆っている搬送保護フィルムを剥がしてください。

## 機能

このセクションでは、MC3400/MC3450 モバイル コンピュータの機能について説明します。

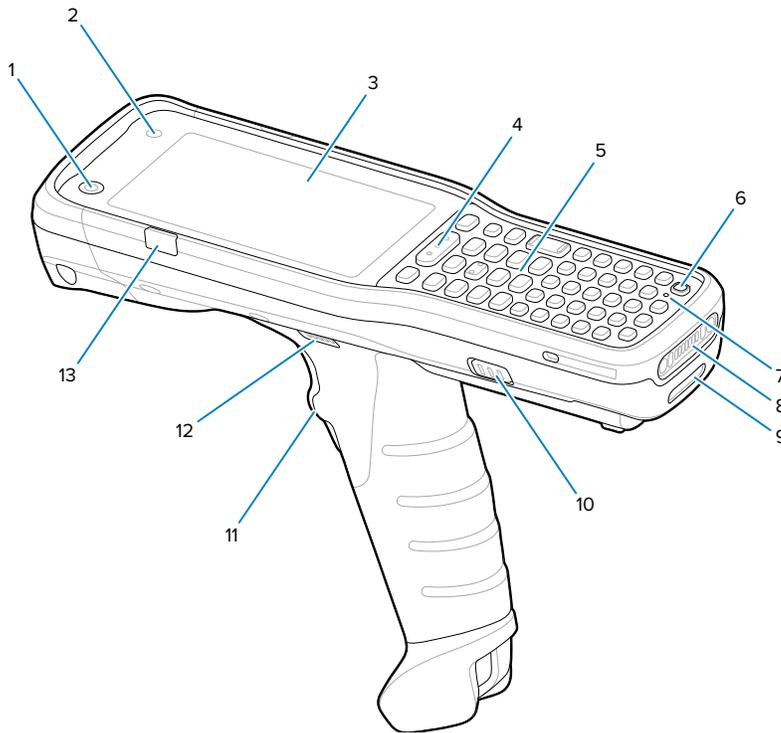
### ガン構成

このセクションでは、MC34 のガン構成について説明します。



**注：**前面/背面カメラとカメラ フラッシュは、フル機能構成でのみ使用でき、周辺光センサーは拡張およびフル機能構成でのみ使用できます。

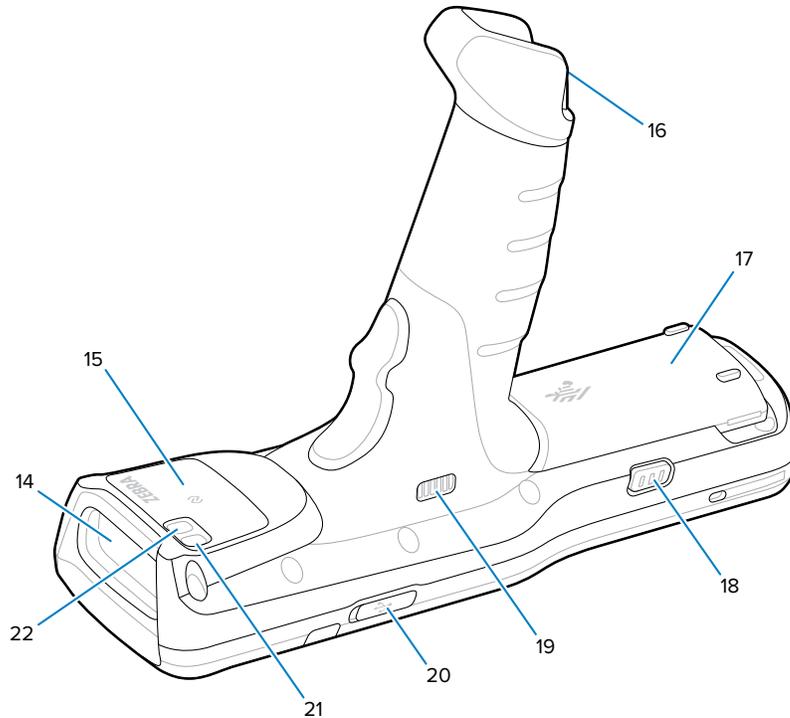
図 1 上面図



番号	項目	説明
1	5MP 前面カメラ	写真やビデオを撮影します。また、シングル サイン オン (SSO) 用の生体認証に、Identity Guardian を使用します。
2	周辺光センサー	ディスプレイ バックライトの輝度をコントロールするために、周辺光を判別します。
3	ディスプレイ	デバイスの操作に必要な情報がすべて表示されます。
4	スキャン ボタン	スキャン アプリケーションが有効な場合、データ読み取りを開始します。
5	キーパッド	データの入力と画面機能の操作に使用します。
6	電源キー	押して、画面をオンまたはオフにします。ボタンを長押しして、次のオプションから 1 つを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>[Power off] (電源オフ)</b> - 本デバイスの電源をオフにします。</li> <li>• <b>[Restart] (再起動)</b> - ソフトウェアが応答を停止した場合に、デバイスを再起動します。</li> </ul>
7	マイク	音声通信に使用します。
8	充電 I/O	充電と通信用の電源/アースです。
9	ハンドストラップスロット	ハンドストラップの取り付けポイントです。
10	バッテリーリリースラッチ	バッテリーをデバイスから取り出します。
11	トリガ	スキャン アプリケーションが有効な場合、データ読み取りを開始します。

番号	項目	説明
12	スピーカ	ビデオおよび音楽再生用の音声を出力します。
13	充電/アプリケーション通知 LED またはスキャン/ デコード ステータス	充電中のバッテリー充電状態、アプリケーション通知を受信したこと、またはスキャン/デコード ステータスを示します。

図 2 底面図



番号	項目	説明
14	スキャナ出力ウィンドウ	内蔵のイメージャ オプションを使用したデータ読み取りに使用します。
15	NFC アンテナ	他の NFC 対応デバイスとの通信に使用します。
16	ハンドストラップスロット	ハンドストラップの取り付けポイントです。
17	バッテリー	デバイスの動作に必要な電力を供給します。
18	バッテリーリリースラッチ	バッテリーをデバイスから取り出します。
19	スピーカ	ビデオおよび音楽再生用の音声を出力します。
20	USB-C カバー/コネクタ	I/O USB-C インタフェースを使用して、デバイスに電力を供給し、通信を行います。
21	13MP 背面カメラ	写真やビデオを撮影します。
22	カメラフラッシュ	カメラ用の照明です。

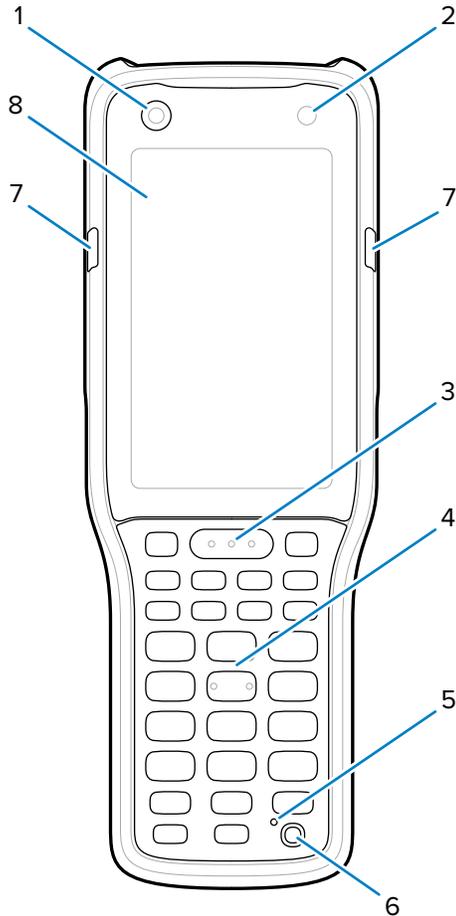
## ストレートシューターの構成

このセクションでは、MC34 ストレートシューター構成の機能について説明します。



**注：** 前面/背面カメラとカメラフラッシュは、フル機能構成でのみ使用でき、周辺光センサーは拡張およびフル機能構成でのみ使用できます。

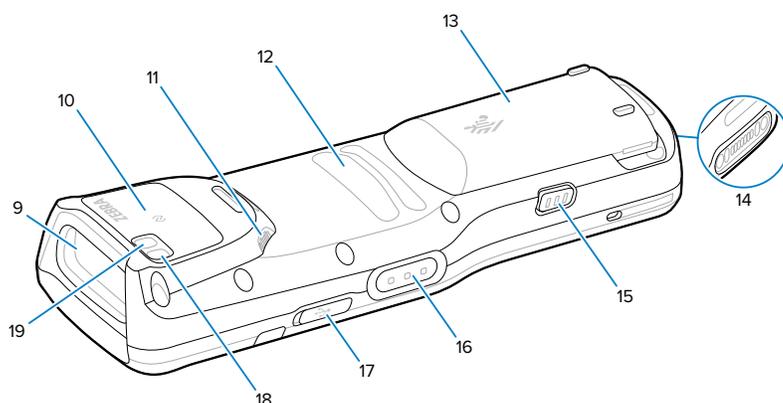
図3 上面図



番号	項目	説明
1	5MP 前面カメラ	写真やビデオを撮影します。また、シングルサインオン (SSO) 用の生体認証に、Identity Guardian を使用します。
2	周辺光センサー	ディスプレイバックライトの輝度をコントロールするために、周辺光を判別します。
3	スキャンボタン	スキャンアプリケーションが有効な場合、データ読み取りを開始します。
4	キーパッド	データの入力と画面機能の操作に使用します。
5	マイク	音声通信に使用します。

番号	項目	説明
6	電源キー	<p>押して、デバイスをオン/オフします。ボタンを長押しして、次のオプションから1つを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>[Power off] (電源オフ)</b> - 本デバイスの電源をオフにします。</li> <li>• <b>[Restart] (再起動)</b> - ソフトウェアが応答を停止した場合に、デバイスを再起動します。</li> </ul>
7	充電/アプリケーション通知 LED またはスキャン/ デコード ステータス	充電中のバッテリー充電状態、アプリケーション通知を受信したこと、またはスキャン/デコード ステータスを示します。
8	ディスプレイ	デバイスの操作に必要な情報がすべて表示されます。

図 4 底面図



番号	項目	説明
9	スキャナ出力ウィンドウ	内蔵のイメージャ オプションを使用したデータ読み取りに使用します。
10	NFC アンテナ	他の NFC 対応デバイスとの通信に使用します。
11	スピーカ	ビデオおよび音楽再生用の音声を出力します。
12	フィンガー パーチ	デバイスに指をかけやすくします。
13	バッテリー	デバイスの動作に必要な電力を供給します。
14	充電 I/O	充電と通信用の電源/アースです。
15	バッテリー リリースラッチ	バッテリーをデバイスから取り出します。
16	側面キー スキャンボタン	スキャンアプリケーションが有効な場合、データ読み取りを開始します。
17	USB-C カバー/コネクタ	I/O USB-C インタフェースを使用して、デバイスに電力を供給し、通信を行います。
18	13MP 背面カメラ	写真やビデオを撮影します。
19	カメラ フラッシュ	カメラ用の照明です。

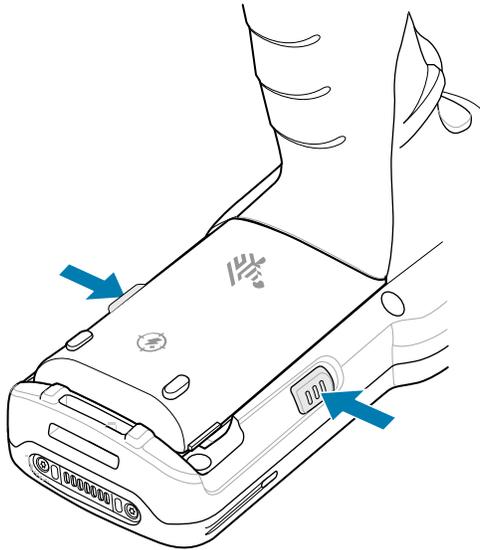
## microSD カードの取り付け

microSD カードスロット (バッテリー パックの下にあります) は、不揮発性のセカンダリ ストレージとして機能します。詳細については、microSD カードに添付されているマニュアルを参照し、メーカー推奨の使用方法に従ってください。使用する前に、デバイスで microSD カードをフォーマットすることを強くお勧めします。



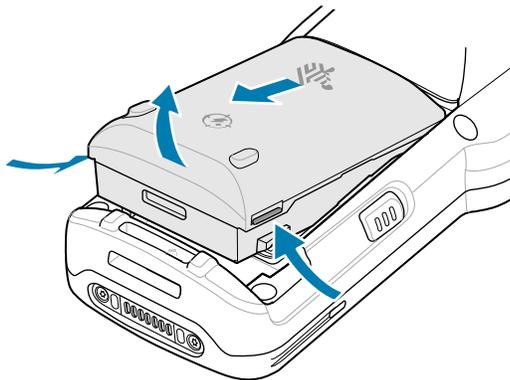
**注意:** microSD カードを損傷しないように、静電気放電 (ESD) に関する注意事項に従ってください。ESD に関する注意事項には、ESD マットでの作業、および作業者が適切に接地されていることの確認が含まれますが、これらに限定されません。

1. バッテリーを取り外すには、次の手順に従います。
  - a) 2つのバッテリー リリース ボタンを押し込みます。



バッテリーが少し外に出ます。

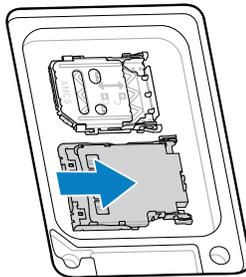
- b) バッテリーを収納部から取り外します。



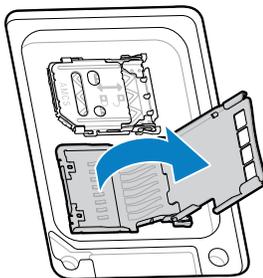
2. コインや指でアクセス カバーを取り外します。



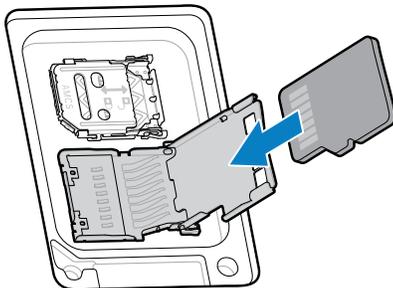
3. microSD カード ホルダをスライドさせて開きます。



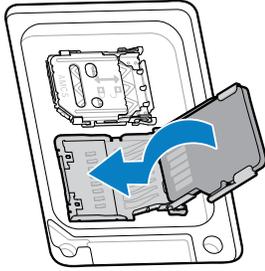
4. microSD カード ホルダを持ち上げます。



5. 端子が下になるように microSD カードを端子部に挿入します。



6. microSD カードホルダを閉じ、スライドさせてロックします。



7. アクセスカバーを元に戻します。



8. バッテリーを取り付けます。

## SIM カードの取り付け

MC3450 を使用してモバイル ネットワークで通話を発信し、データを転送するには SIM カードまたは eSIM が必要です。SIM カードはバッテリー パックの下にあります。

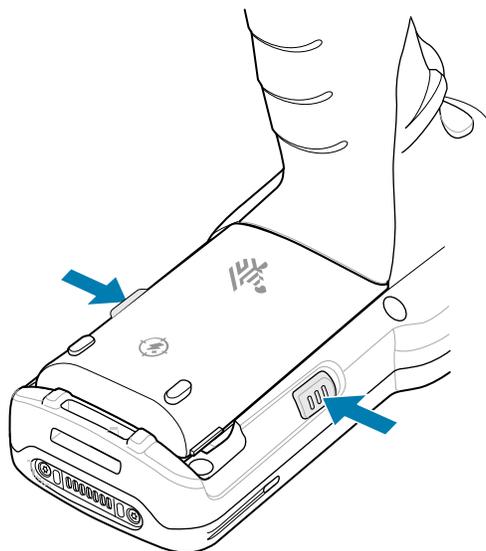
デュアル SIM/デュアルスタンバイ (DSDS) も備えており、eSIM カードと SIM カードの両方を使用して、いつでもスタンバイ状態を維持できます。



**注意：** SIM カードを損傷しないように、静電気放電 (ESD) に関する注意事項に従ってください。ESD に関する注意事項には、ESD マット上での作業や、作業する場合の適切な接地などが記載されています。

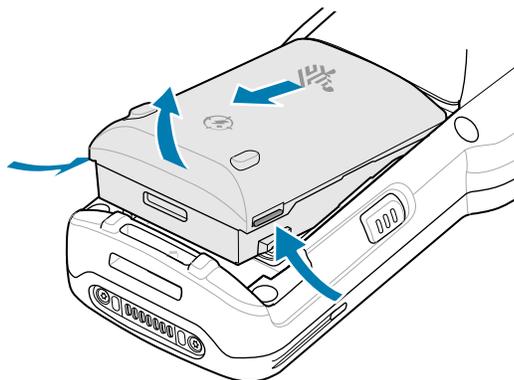
1. バッテリーを取り外すには、次の手順に従います。

a) 2つのバッテリー リリース ボタンを押し込みます。



バッテリーが少し外に出ます。

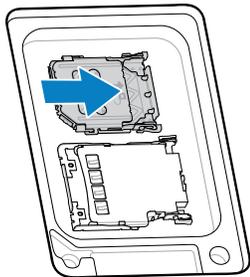
b) バッテリーを収納部から取り外します。



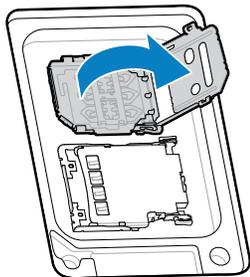
2. コインや指でアクセス カバーを取り外します。



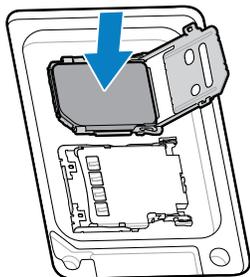
3. SIM カードホルダを右にスライドさせてロックを解除します。



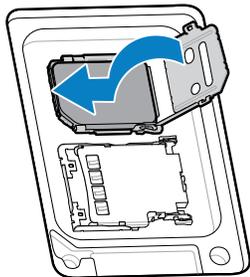
4. SIM カードホルダドアを持ち上げます。



5. 端子が下になるように、カードホルダにSIMカードを取り付けます。



6. SIM カードホルダドアを閉じます。



7. SIM カードホルダを左にスライドさせてロックします。

8. アクセス カバーを元に戻します。



9. バッテリーを取り付けます。

## eSIM のアクティブ化

MC3450 で eSIM を使用します。eSIM を使用する前に、アクティブ化します。



**注:** eSIM を追加する前に携帯電話会社に連絡して、eSIM サービスとそのアクティベーションコードまたは QR コードを入手してください。

1. デバイスで、SIM カードを挿入した状態で Wi-Fi または携帯電話データを介してインターネット接続を確立します。
2. **[Settings] (設定)** に移動します。
3. **[Network & Internet] (ネットワークとインターネット) > [Mobile Networks] (モバイル ネットワーク)** の順にタッチします。
4. SIM がすでに挿入されている場合は **SIM** の横にある + をタッチするか、SIM カードが挿入されていない場合は **SIM** をタッチします。

**[Mobile network] (モバイル ネットワーク)** 画面が表示されます。

5. 以下の中から選択します。
  - **[MANUAL CODE ENTRY] (手動コード入力)** を選択して、アクティベーションコードを入力します。または、
  - **[SCAN] (スキャン)** を選択して QR コードをスキャンして、eSIM プロファイルをダウンロードします。

**[Confirmation!!!!] (確認!!!!)** ダイアログ ボックスが表示されます。

6. **[OK]** をタッチします。
7. アクティベーションコードを入力するか、QR コードをスキャンします。
8. **[NEXT] (次へ)** をタッチします。

**[Confirmation!!!!] (確認!!!!)** ダイアログ ボックスが表示されます。

9. **[ACTIVATE] (アクティブ化)** をタッチします。
10. **[Done] (完了)** をタッチします。

eSIM がアクティブ化されます。

## eSIM の非アクティブ化

eSIM を一時的にオフにし、後で再度アクティブにします。

1. デバイスで、SIM カードを挿入した状態で Wi-Fi または携帯電話データを介してインターネット接続を確立します。
2. [Network & Internet] (ネットワークとインターネット) > [SIM] の順にタッチします。
3. [Download SIM] (SIM のダウンロード) セクションで、非アクティブ化する eSIM をタッチします。
4. [Use SIM] (SIM を使用) スイッチをタッチして eSIM をオフにします。
5. [Yes] (はい) をタッチします。

eSIM が非アクティブ化されます。

## eSIM プロファイルの消去

eSIM プロファイルを消去すると、MC3450 から完全に削除されます。



**注:** デバイスから eSIM を消去した後は、再使用できません。

1. デバイスで、SIM カードを挿入した状態で Wi-Fi または携帯電話データを介してインターネット接続を確立します。
2. [Network & Internet] (ネットワークとインターネット) > [SIM] の順にタッチします。
3. [Download SIM] (SIM のダウンロード) セクションで、消去する eSIM をタッチします。
4. [Erase] (消去) をタッチします。

「Erase this downloaded SIM? (ダウンロードした SIM を消去しますか?)」メッセージが表示されます。

5. [Erase] (消去) をタッチします。

eSIM プロファイルがデバイスから消去されます。

## バッテリーの取り付け

このセクションでは、ガンとストレートシューターの両方の構成でバッテリーを取り付ける方法について説明します。

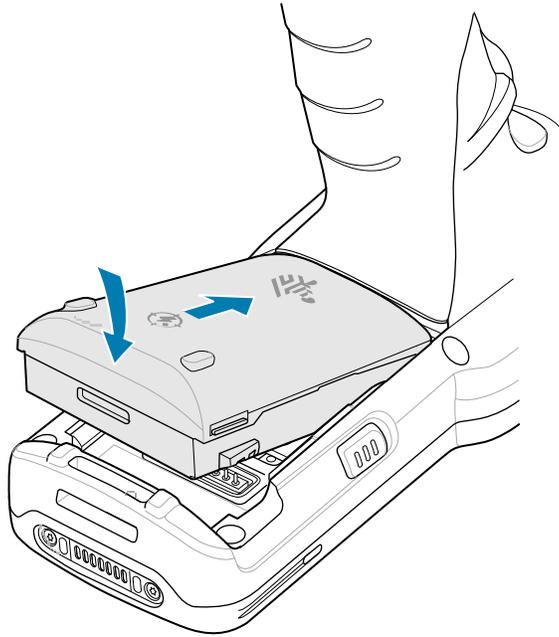
バッテリー電圧が 3.45V を下回ると、デバイスはオンになりません。現在のバッテリー電圧を確認するには、『Product Reference Guide』の「バッテリー マネージャ」のセクションを参照してください。

## ガン バッテリーの取り付け

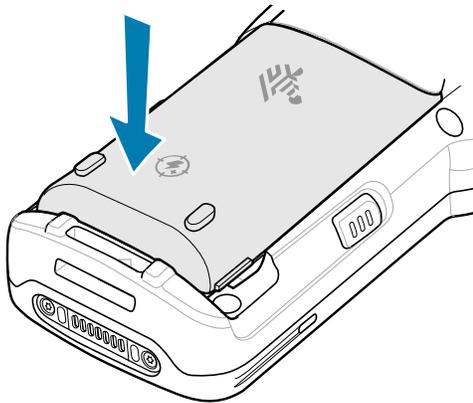
本デバイスには、7,000mAh PowerPrecision+ バッテリーが付属しています。オプションとして、BLE ビーコン付き MC34 充電式リチウム イオン バッテリーが利用可能です。

1. 必要に応じて、ハンドストラップを緩めます。

2. バッテリーをバッテリーボックスに合わせます。



3. バッテリーの前面をスライドさせてバッテリー収納部に入れます。
4. バッテリーを下方向にしっかりと押します。デバイスの側面にある両方のバッテリー リリース ボタンがホームポジションに戻ったことを確認します。



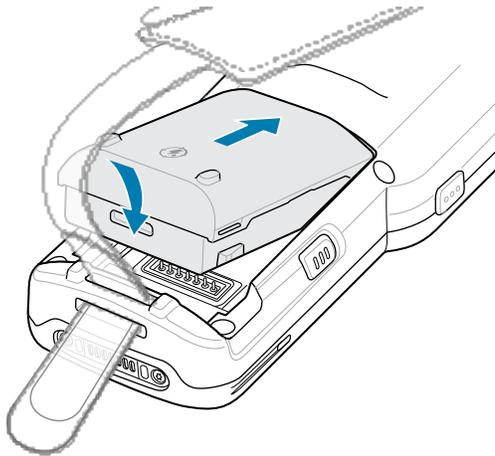
5. ハンドストラップが取り付けられている場合は、締めます。
6. (Zebra の起動画面が表示されるまで) 電源キーを押したままにして、本デバイスの電源をオンにします。

## ストレートシューターバッテリーの取り付け

本デバイスには、7,000mAh PowerPrecision+ バッテリーが付属しています。オプションとして、BLE ビーコン付き MC34 充電式リチウムイオンバッテリーが利用可能です。

1. 必要に応じて、ハンドストラップを緩めます。

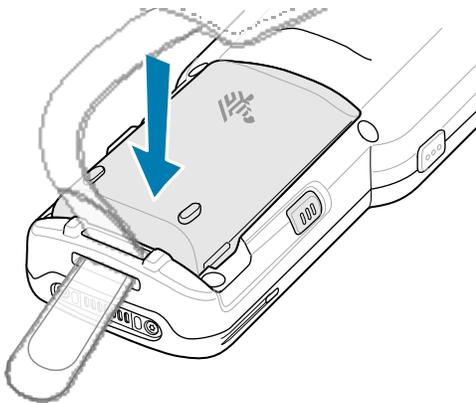
2. バッテリーの上部をバッテリー収納部に合わせます。



3. バッテリーの前面をスライドさせてバッテリー収納部に入れます。

4. バッテリーを下方向にしっかりと押します。

側面にある両方のバッテリー リリース ボタンがホーム ポジションに戻ったことを確認します。



5. 必要に応じて、ハンドストラップを締めます。

6. (Zebra の起動画面が表示されるまで) 電源キーを押したままにして、本デバイスの電源をオンにします。

## バッテリーの互換性

MC3400 および MC3450 は、充電式リチウム イオン (リチウム イオン) バッテリーを主電源として使用します。

MC34 デバイスは、次のデバイスと互換性があります。

- MC34 7,000mAh PowerPrecision+ 拡張容量リチウム イオン バッテリー (バッテリー P/N: BT-000375-0810/0A10)
- MC34 7,000 mAh PowerPrecision+ 拡張容量リチウム イオン バッテリー (BLE ビーコン付き)(バッテリー P/N: BT-000375-081B/0A1B)



**注:** MC34 バッテリーは、MC3300 と MC3300ax にも対応しています。

MC34 デバイスは、MC33 の従来バッテリーとも互換性がありますが、侵入保護 (IP) シーリングが低減されています。

- MC33 7,000mAh PowerPrecision+ 拡張容量リチウム イオン バッテリー (バッテリー P/N: BT-000375-10/12/60)
- MC33 7,000mAh PowerPrecision+ 拡張容量リチウム イオン バッテリー (バッテリー P/N: BT-000444-10/12/60)
- MC33 5,200mAh PowerPrecision+ 大容量リチウム イオン バッテリー (バッテリー P/N: BT-000337-00/01/02)

## BLE ビーコン付き充電式リチウム イオン バッテリー

BLE ビーコン付き充電式リチウム イオン バッテリーは、ユーザーがデバイスを紛失および電源オフ時に追跡することを可能にする BLE ビーコンが付いた 7,000mAh PowerPrecision+ バッテリーです。本デバイスには、7,000mAh PowerPrecision+ バッテリーが付属しています。BLE ビーコン付き充電式リチウム イオン バッテリーが利用可能です。



**注:** セカンダリ BLE ビーコンが機能するのは、本デバイスの電源がオフになる前に、BLE ビーコン付き充電式リチウム イオン バッテリーが本デバイス内にある場合のみです。

図 5 BLE ビーコン付き充電式リチウム イオン バッテリー (Bluetooth ロゴ付き)



セカンダリ BLE の設定は、本デバイスのオペレーティング システムによって制御されます。セカンダリ BLE の設定の詳細については、[techdocs.zebra.com/emdk-for-android/13-0/mx/beaconmgr/](https://techdocs.zebra.com/emdk-for-android/13-0/mx/beaconmgr/) を参照してください。



**重要:** オペレーティング システムによってセカンダリ BLE の設定が確実にバッテリーに転送されるようにするために、BLE ビーコン付き充電式リチウム イオン バッテリーを取り付けたら、本デバイスの電源をオンにしてください。

BLE で充電式リチウム イオン バッテリーが正常に動作するようにするには、次の手順に従います。

- Bluetooth 信号 (ビーコン) を送信するのは、本デバイスの電源がオフになっているときか、本デバイスが機内モードになっているとき (デフォルトでは無効) のみです。
- BLE ビーコン付き充電式リチウム イオン バッテリーが信号 (ビーコン) を送信するには、本デバイス内にある必要があります。
- バッテリーが空になったために本デバイスの電源がオフになると、少なくとも 7 日間 BLE 信号を送信します。

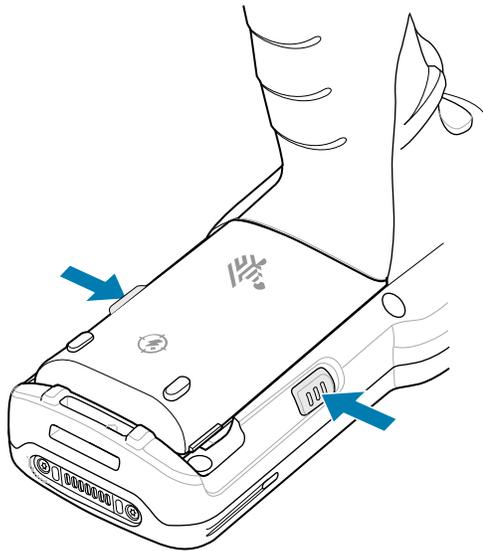
## バッテリーの交換

このセクションでは、ガンとストレートシューターの両方の構成でバッテリーを交換する方法について説明します。

### ガン バッテリーの交換

このセクションでは、ガン構成でのバッテリー交換について説明します。

1. 必要に応じて、ハンドストラップを緩めます。
2. 2つのバッテリー リリース ボタンを押し込みます。

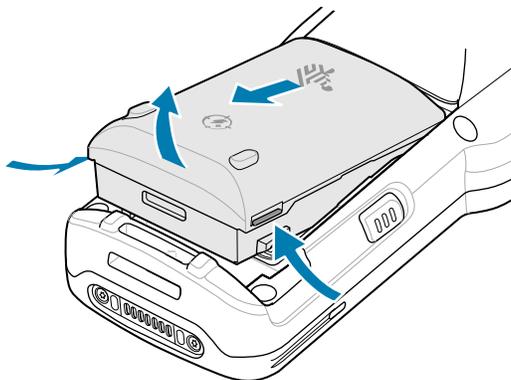


バッテリーが少し外に出ます。

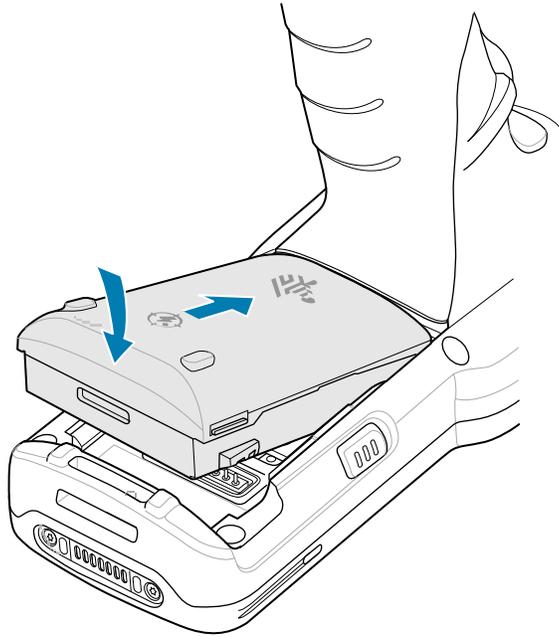


**注:** ホットスワップモードでは、バッテリーを取り外すと、ディスプレイがオフになり、デバイスは低電力状態になります。MC34は、30秒間の無線接続の持続性(黄色のLEDの点滅)をサポートし、その後RAMデータの持続性を約5分間維持します。メモリ内容を保持するために、5分以内にバッテリーを交換してください。

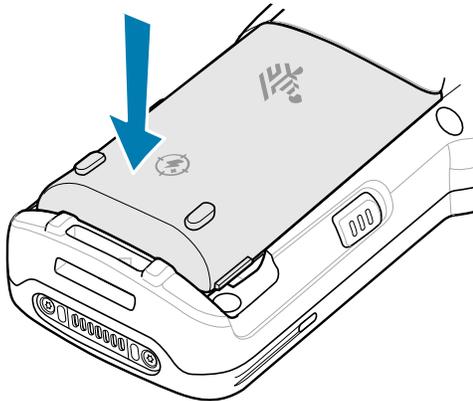
3. バッテリーをバッテリー収納部から取り外します。



4. バッテリーを取り付けるには、バッテリーをバッテリー収納部に合わせます。



5. バッテリーの前面をスライドさせてバッテリー収納部に入れます。
6. バッテリーを下方方向にしっかりと押します。  
デバイスの側面にある両方のボタンがホームポジションに戻ったことを確認します。



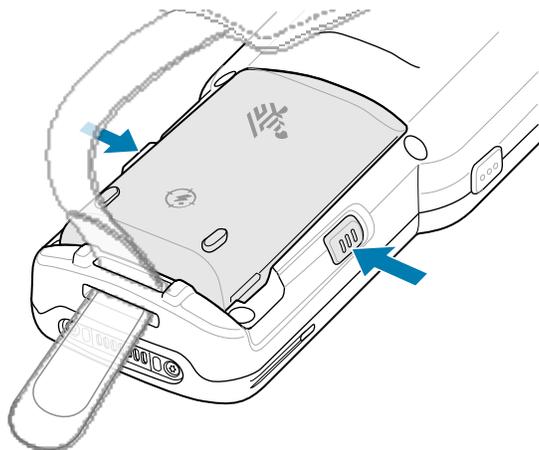
(ホットスワップ交換での) バッテリーの取り外しおよび取り付け後、本デバイスは自動的に再開します。電源キーを押す必要があるのは、本デバイスの電源がオフになっている場合か、バッテリーパックを使用せずに長時間放置されている場合のみです。

## ストレートシューターバッテリーの交換

このセクションでは、ストレートシューター構成でのバッテリー交換について説明します。

1. 必要に応じて、ハンドストラップを緩めます。

2. 2つのバッテリーリリース ボタンを押し込みます。

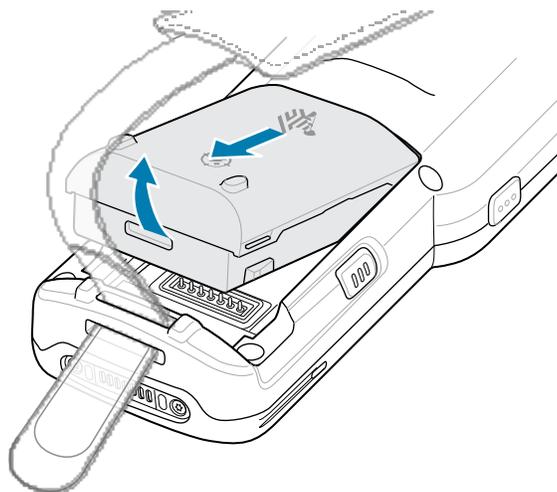


バッテリーが少し外に出ます。

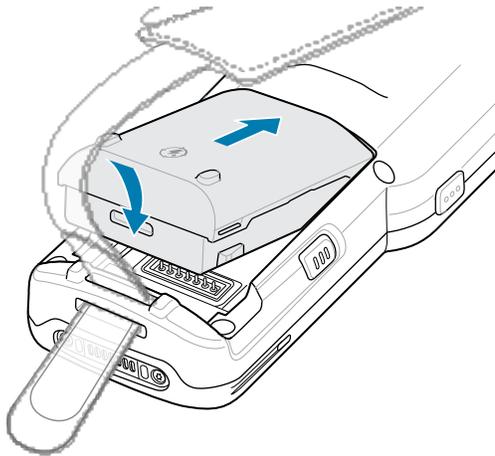


**注:** ホットスワップモードでは、バッテリーを取り外すと、ディスプレイがオフになり、デバイスは低電力状態になります。MC34は、30秒間の無線接続の持続性(黄色のLEDの点滅)をサポートし、その後RAMデータの持続性を約5分間維持します。メモリ内容を保持するために、5分以内にバッテリーを交換してください。

3. バッテリーをバッテリー収納部から取り外します。



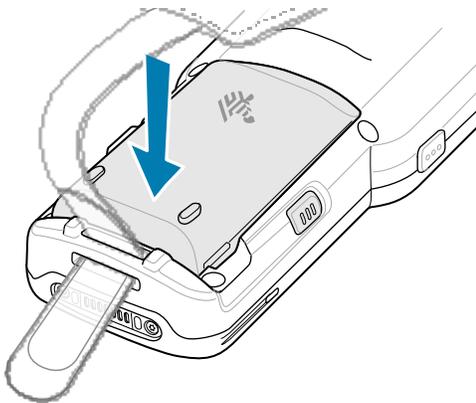
4. バッテリーを取り付けるには、バッテリーをバッテリー収納部に合わせます。



5. バッテリーの前面をスライドさせてバッテリー収納部に入れます。

6. バッテリーを下方向にしっかりと押しします。

デバイスの側面にある両方のボタンがホームポジションに戻ったことを確認します。



(ホットスワップ交換での) バッテリーの取り外しおよび取り付け後、本デバイスは自動的に再開します。電源キーを押す必要があるのは、本デバイスの電源がオフになっている場合か、バッテリーパックを使用せずに長時間放置されている場合のみです。

## デバイスの充電

最適な充電をするには、Zebra の充電アクセサリとバッテリーのみを使用し、室温でバッテリーを充電してください。

標準バッテリーが完全に空になっている場合は約 4 時間で 90% まで、約 5 時間で 100% まで充電されます。多くの場合、日常的な使用に対しては 90% までの充電で充分です。使用プロファイルに応じて、100% のフル充電を行うと、約 20 時間連続で使用可能な場合があります。



**注：**『Product Reference Guide』に記載されているバッテリーの安全に関するガイドラインに従うようにしてください。

デバイスやアクセサリは、常に安全かつ適切な方法で充電し、異常な温度のため充電を中止した場合には、LED が点灯するとともにデバイスのディスプレイに通知が表示されます。

温度	バッテリー充電時の動作
0 ~ 45°C (32 ~ 113°F)	最適な充電範囲。
0°C (32°F) 未満 45°C (113°F) 超	充電が停止します。
58°C (136°F) 超	デバイスがシャットダウンします。

メインバッテリーを充電するには、次の手順に従います。

1. 充電アクセサリを適切な電源に接続します。
2. デバイスを充電クレードル スロットに挿入するか、USB-C ケーブルを電源に接続します。  
デバイスの電源がオンになり、充電が開始されます。充電/通知 LED はバッテリーの充電状態を示します。
3. 充電が完了したら、デバイスをクレードルのスロットから取り外すか、USB-C ケーブルを抜きます。

## 予備バッテリーの充電

最適な充電をするには、Zebra の充電アクセサリおよびバッテリーを使用してください。

1. 充電器を電源に接続します。
2. バッテリーを予備バッテリー受けに差し込み、バッテリーをゆっくり押し下げて正しく接触するようにします。  
クレードル前面の予備バッテリー充電 LED は、予備バッテリーの充電の状態を示します。
3. 充電が完了したら、充電スロットからバッテリーを取り外します。

## 充電インジケータ

充電 LED インジケータが、バッテリーの充電状態を示します。

表 1 LED 充電インジケータ

ステータス	表示
オフ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• バッテリーが充電されません。</li> <li>• デバイスが正しくクレードルに挿入されていないか、電源に接続されていません。</li> <li>• デバイ스에電源が供給されていません。</li> </ul>
黄色で点滅	バッテリーのホット スワップ中にアクティブな無線接続セッションが発生しました。
黄色で点灯	バッテリーが充電中です。
緑色で点灯	バッテリーの充電が完了しています。

表 1 LED 充電インジケータ (Continued)

ステータス	表示
赤色で速く点滅/1秒に2回点滅	充電エラーです。例: <ul style="list-style-type: none"> <li>• 温度が低すぎるか、高すぎます。</li> <li>• 充電完了までの時間が長すぎます (通常は 8 時間)。</li> </ul>
赤色で点灯	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 予備バッテリーを充電中ですが、バッテリーの寿命が近づいています。</li> <li>• 充電は完了していますが、バッテリーの寿命が近づいています。</li> </ul>
青色で点滅	アプリケーション通知を受信したことを示します。

## 充電用アクセサリ

デバイスおよび/または予備バッテリーを充電するには、次のアクセサリのいずれかを使用します。

### 充電と通信

説明	部品番号	充電		通信	
		バッテリー (デバイス内)	予備バッテリー	USB	イーサネット
1 スロット USB 充電クレードル (予備バッテリー充電器付き)	CRD-MC33-2SUCHG-01	あり	あり	あり	なし
5 スロット充電専用 ShareCradle	CRD-MC33-5SCHG-01	あり	なし	なし	なし
5 スロット Ethernet ShareCradle	CRD-MC33-5SETH-01	あり	なし	なし	あり
5 スロット充電 ShareCradle (4 スロット バッテリー充電器付き)	CRD-MC33-4SC4BC-01	あり	あり	なし	なし
5 スロット Ethernet ShareCradle (4 スロット バッテリー充電器付き)	CRD-MC33-4SE4BC-01	あり	あり	なし	あり
4 スロット予備バッテリー充電器	SAC-MC33-4SCHG-01	なし	あり	なし	なし
20 スロット予備バッテリー充電器	SAC-MC33-20SCHG-01	なし	あり	なし	なし
USB 充電ケーブル	CBL-MC33-USBCHG-01	あり	なし	あり	なし



**注:** MC34 デバイスで推奨される充電方法は、他の充電オプションよりも速いため、充電クレードルを使用することです

## 1 スロット USB 充電クレードル (予備バッテリー充電器付き)

1 スロット USB 充電クレードルは、メインと予備バッテリーを同時に充電します。



**注意：**『Product Reference Guide』に記載されているバッテリーの安全に関するガイドラインに従うようにしてください。

1 スロット USB 充電クレードルには、次のような機能があります。

- モバイル コンピュータおよびバッテリーの充電用に DC 9V の電力を供給する。
- 予備バッテリーの充電用に 4.2V の DC 電力を供給する。
- モバイル コンピュータとホスト コンピュータやその他の USB デバイス (ラップトップやプリンタなど) の間のデータ通信用に USB ポートを提供する。
- モバイル コンピュータとホスト コンピュータの間で情報を同期する。カスタマイズされたソフトウェアやサードパーティ製のソフトウェアを使用すると、モバイル コンピュータと会社のデータベースを同期することも可能です。
- 以下のバッテリーと互換性がある。
  - BLE ビーコン付き 7,000mAh PowerPrecision+ バッテリー
  - 7,000mAh PowerPrecision+ バッテリー
  - 5,200mAh PowerPrecision+ バッテリー

図 6 1 スロット USB 充電クレードル (予備バッテリー充電器付き)

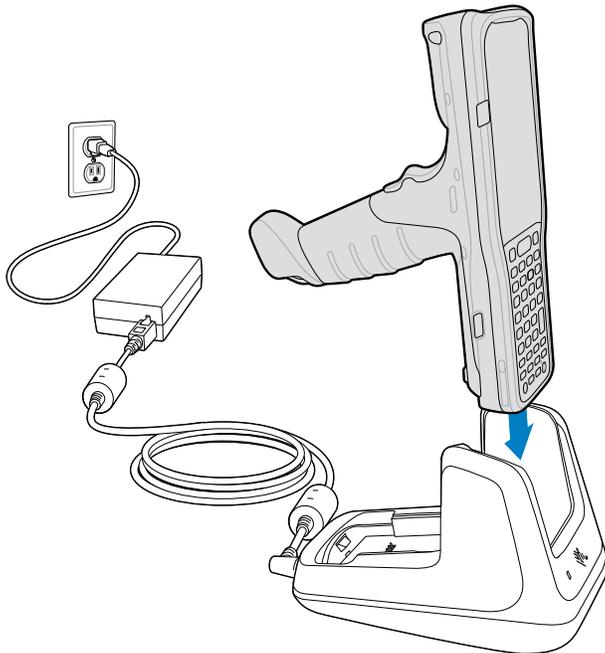
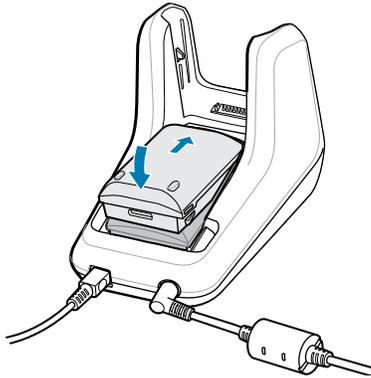


図7 予備バッテリーの充電



## 5 スロット充電専用 ShareCradle

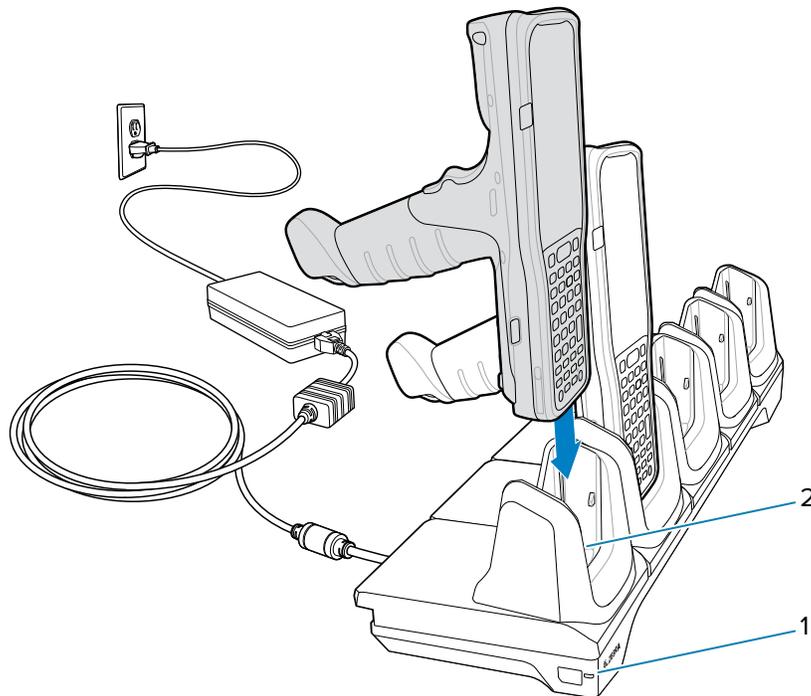
5 スロット充電専用 ShareCradle は、最大 5 台のデバイスを同時に充電します。



**注意：**『Product Reference Guide』に記載されているバッテリーの安全に関するガイドラインに従うようにしてください。

5 スロット充電専用クレードルは、モバイル コンピュータとバッテリーの充電に DC 9V の電力を供給します。

図8 5 スロット充電専用 ShareCradle



1	電源 LED
2	充電スロット

## 5 スロット Ethernet ShareCradle

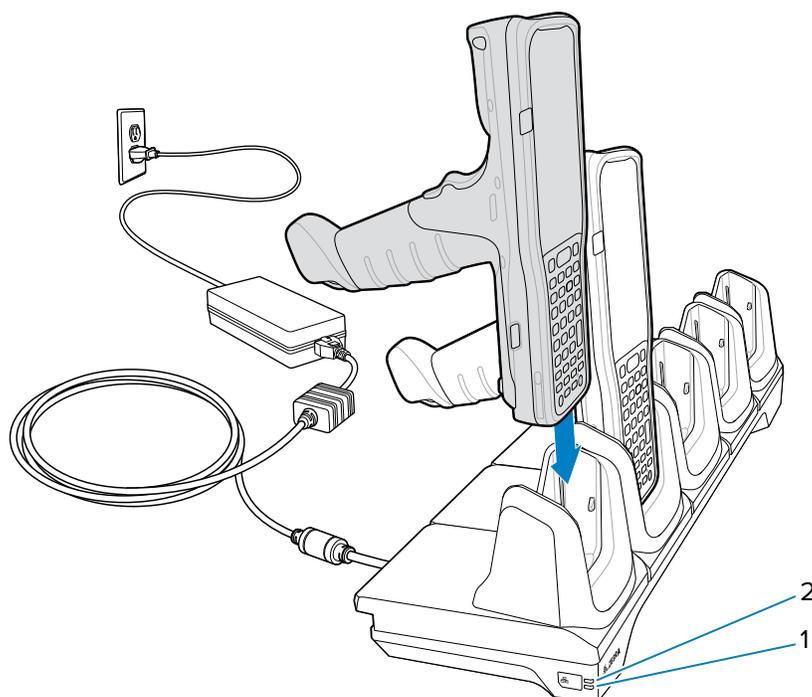
5 スロット Ethernet ShareCradle は、最大 5 台のデバイスを同時に充電し、イーサネット通信を行います。



**注意：**『Product Reference Guide』に記載されているバッテリーの安全に関するガイドラインに従うようにしてください。

5 スロット Ethernet ShareCradle は、モバイル コンピュータとバッテリーの充電に DC 9V の電力を供給します。

図 9 5 スロット Ethernet ShareCradle



1	1000 LED
2	10/100 LED

## 5 スロット ShareCradle (4 スロット バッテリー充電器付き)

5 スロット ShareCradle (4 スロット バッテリー充電器付き) は、1 台のクレードルで最大 4 台のデバイスと最大 4 個の予備バッテリーを充電します。



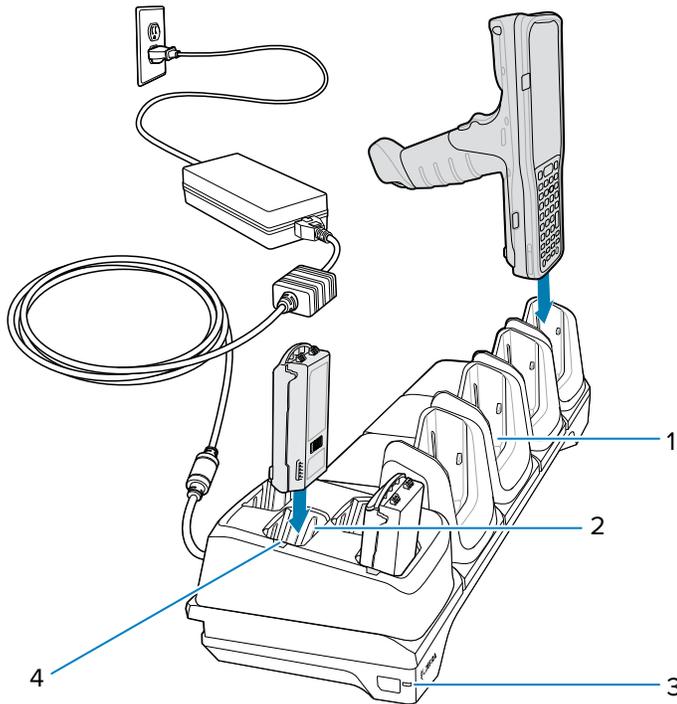
**注意：**『Product Reference Guide』に記載されているバッテリーの安全に関するガイドラインに従うようにしてください。

5 スロット ShareCradle (4 スロット バッテリー充電器付き) には、次のような機能があります。

- モバイル コンピュータおよびバッテリーの充電用に DC 9V の電力を供給する。
- 予備バッテリーの充電用に 4.2V の DC 電力を供給する。

- 以下のバッテリーと互換性がある。
  - BLE ビーコン付き 7,000mAh PowerPrecision+ バッテリー
  - 7,000mAh PowerPrecision+ バッテリー
  - 5,200mAh PowerPrecision+ バッテリー

図 10 5 スロット充電 ShareCradle (バッテリー用 4 スロット付き)



1	充電スロット
2	予備バッテリー スロット
3	電源 LED
4	予備バッテリー充電 LED

## 5 スロット Ethernet ShareCradle (4 スロット バッテリー充電器付き)

5 スロット Ethernet ShareCradle (4 スロット バッテリー充電器付き) は、1 台のクレードルで最大 4 台のデバイスと最大 4 個の予備バッテリーを充電し、イーサネット通信を行います。



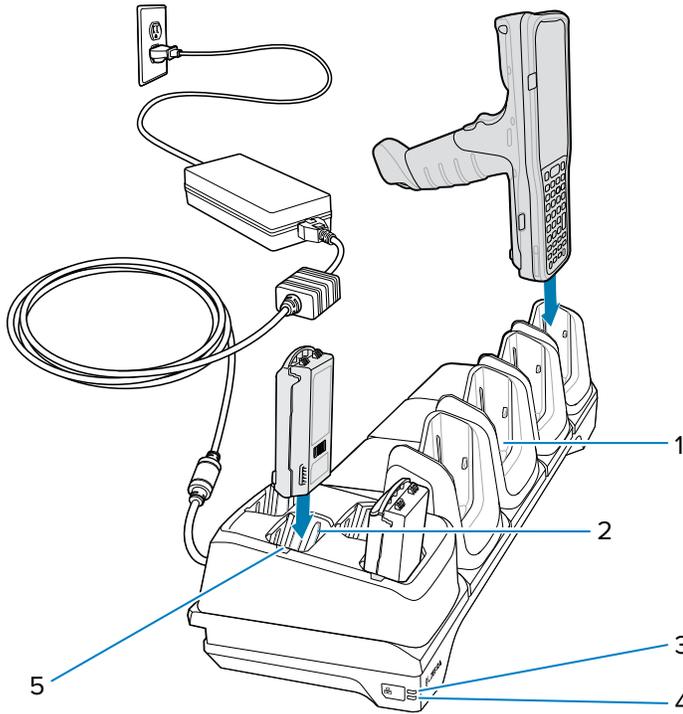
**注意：**『Product Reference Guide』に記載されているバッテリーの安全に関するガイドラインに従うようにしてください。

5 スロット Ethernet ShareCradle (4 スロット バッテリー充電器付き) には、次のような機能があります。

- モバイル コンピュータおよびバッテリーの充電用に 9V の DC 電力を供給する。
- 予備バッテリーの充電用に 4.2V の DC 電力を供給する。

- 以下のバッテリーと互換性がある。
  - BLE ビーコン付き 7,000mAh PowerPrecision+ バッテリー
  - 7,000mAh PowerPrecision+ バッテリー
  - 5,200mAh PowerPrecision+ バッテリー

図 11 5 スロット Ethernet ShareCradle (バッテリー用 4 スロット付き)



1	充電スロット
2	予備バッテリー スロット
3	1000 LED
4	10/100 LED
5	予備バッテリー充電 LED

## 4 スロット予備バッテリー充電器

4 スロット予備バッテリー充電器は、最大 4 個のバッテリーを同時に充電します。



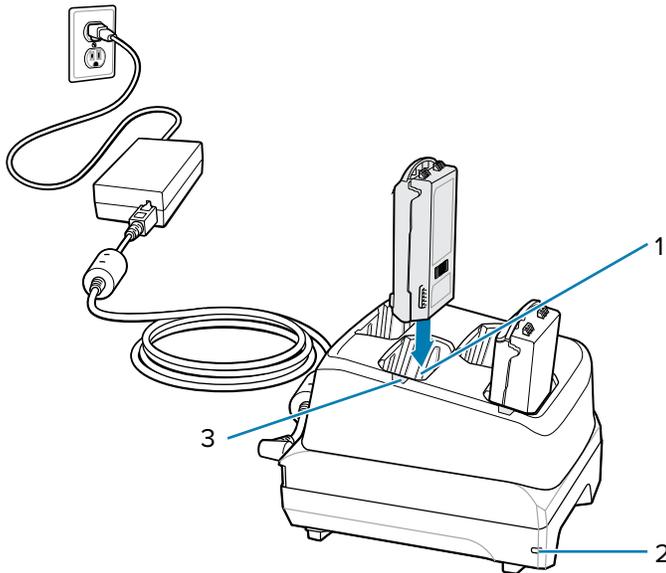
**注意：**『Product Reference Guide』に記載されているバッテリーの安全に関するガイドラインに従うようにしてください。

4 スロット予備バッテリー充電器:

- 予備バッテリーの充電用に 4.2V の DC 電力を供給する。

- 以下のバッテリーと互換性がある。
  - BLE ビーコン付き 7,000mAh PowerPrecision+ バッテリー
  - 7,000mAh PowerPrecision+ バッテリー
  - 5,200mAh PowerPrecision+ バッテリー

図 12 4 スロット予備バッテリー充電器



1	予備バッテリー充電スロット
2	電源 LED
3	予備バッテリー充電 LED

## 20 スロット予備バッテリー充電器

20 スロット予備バッテリー充電器は、最大 20 個の予備バッテリーを同時に充電します。

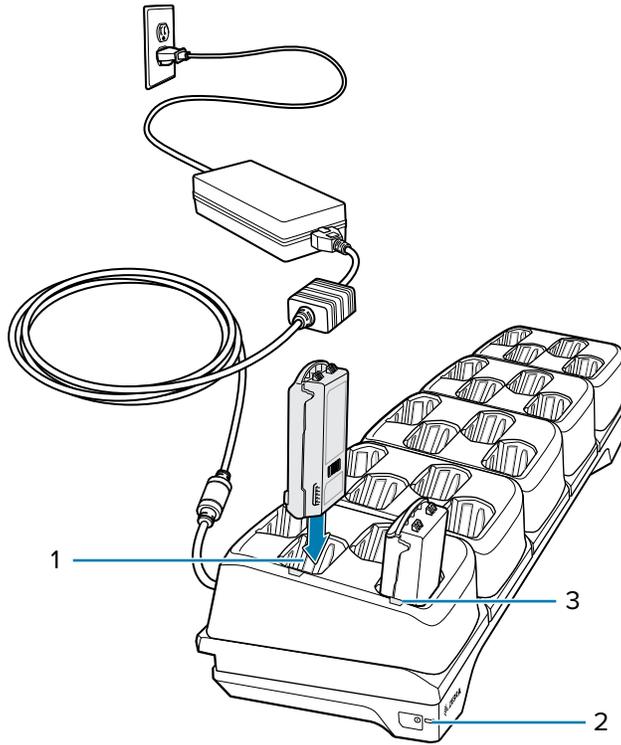


**注意：**『Product Reference Guide』に記載されているバッテリーの安全に関するガイドラインに従うようにしてください。

4 スロット予備バッテリー充電器:

- 予備バッテリーの充電用に 4.2V の DC 電力を供給する。
- 以下のバッテリーと互換性がある。
  - BLE ビーコン付き 7,000mAh PowerPrecision+ バッテリー
  - 7,000mAh PowerPrecision+ バッテリー
  - 5,200mAh PowerPrecision+ バッテリー

図 13 20 スロット予備バッテリー充電器



1	予備バッテリー充電スロット
2	電源 LED
3	予備バッテリー充電 LED

## USB 接続

USB 接続には2つの方法があります。USB クレードルは、デバイスの下部コネクタと側面にある USB-C ポートを介して接続します。

- 本デバイスは、充電/通信クレードルまたは側面の USB-C コネクタを介して下部 USB コネクタを使用し、常時1つの USB 接続のみに使用するよう設計されています。
- 下部と側面の両方の USB 接続での同時接続には対応していません。
- 下部と側面の USB-C を同時に接続しようとすると、下部の USB ホストが接続を確立し、側面の USB-C は無効になります。
- ただし、デバイスが下部コネクタを介して充電専用クレードルに接続されている場合でも、USB-C は接続できます。

## USB 充電ケーブル

USB クレードルは、PowerPrecision+ バッテリーと電源アダプタを使用する際に充電を行います。ラップトップ/PC に接続している際に本デバイスと USB 通信をすることもできます。

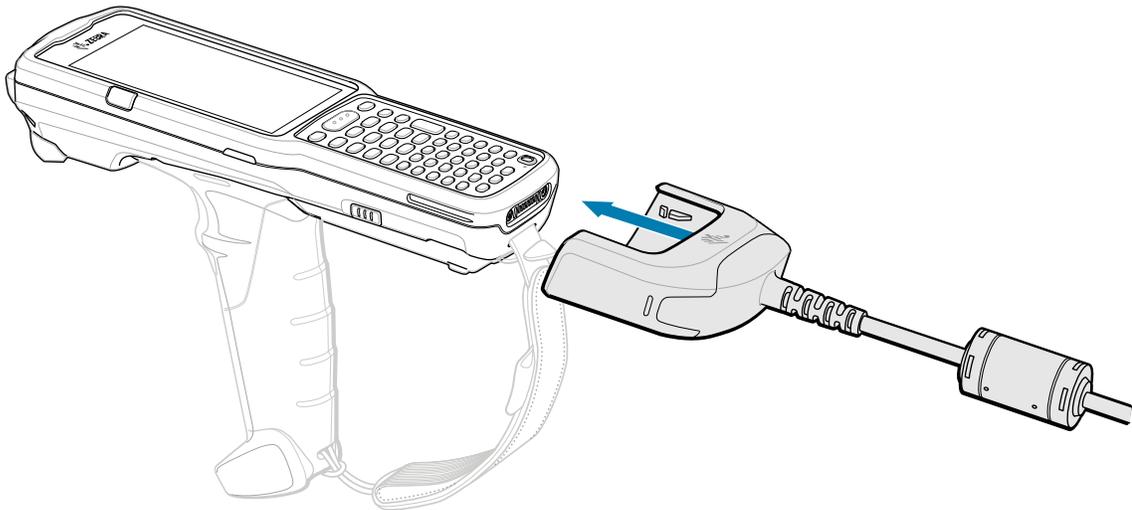


**注意：**『Product Reference Guide』に記載されているバッテリーの安全に関するガイドラインに従うようにしてください。

USB 充電ケーブルは、次を行います。

- 予備バッテリーの充電用に 5V の DC 電力を供給する。
- USB 経由で、デバイスに電源および/またはホスト コンピュータとの通信機能を供給する。
- 以下のバッテリーと互換性がある。
  - BLE ビーコン付き 7,000mAh PowerPrecision+ 拡張容量バッテリー
  - 7,000mAh PowerPrecision+ 拡張容量バッテリー
  - 5,200mAh PowerPrecision+ 大容量バッテリー

図 14 デバイスに接続する USB 充電ケーブル



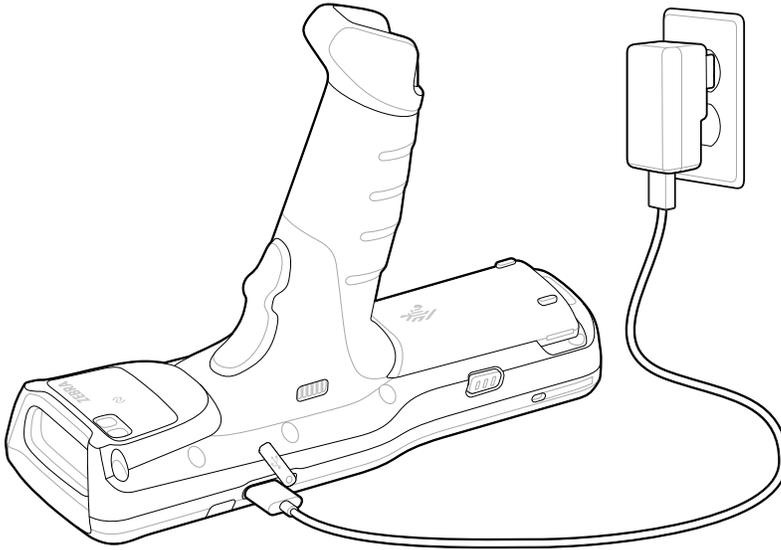
## USB-C ケーブル

USB-C ケーブルはデバイスの左側に接続して、ホスト コンピュータと通信したり、使用していないときは簡単に取り外せます。



**注:** MC34 デバイスで推奨される充電方法は、他の充電オプションよりも速いため、充電クレードルを使用することです。USB-C ケーブルを使用してデバイスを充電する場合は、下部コネクタが充電アクセサリに接続されていないことを確認してください。

図 15 USB の充電



## スキャン

MC3400 および MC3450 には、データを読み取るための内蔵イメージャがあります。

データ読み取りオプションは次のとおりです (構成に基づく)。

- SE4710
- SE4770
- SE55
- SE58

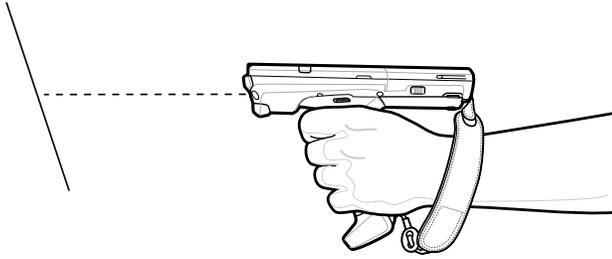
その他のスキャン オプションについては、『Product Reference Guide』を参照してください。

### 内蔵イメージャでのスキャン

バーコードを読み取るには、スキャン対応アプリケーションが必要です。このデバイスには、イメージャでバーコード/QR コード データを読み取ったり、バーコード コンテンツを表示したりできる、DataWedge デモンストレーション (DWDemo) アプリが含まれています。

1. アプリケーションがデバイスで開かれていることと、テキスト フィールドがフォーカスされている (テキスト カーソルがテキスト フィールドにある) ことを確認します。
2. 本デバイスの上部にある出力ウィンドウをバーコードまたは QR コードに向けます。

3. スキャン ボタンを長押しします。  
デバイスは照準パターンを投影します。



**注:** イメージャの読み取りは通常、自動的に行われます。デバイスがピックリスト モードの場合、赤色または緑色の十字がバーコードに当たるまでイメージャはバーコードを読み取りません。

4. 照準パターンの領域にバーコードが納まっていることを確認します。

図 16 照準パターン

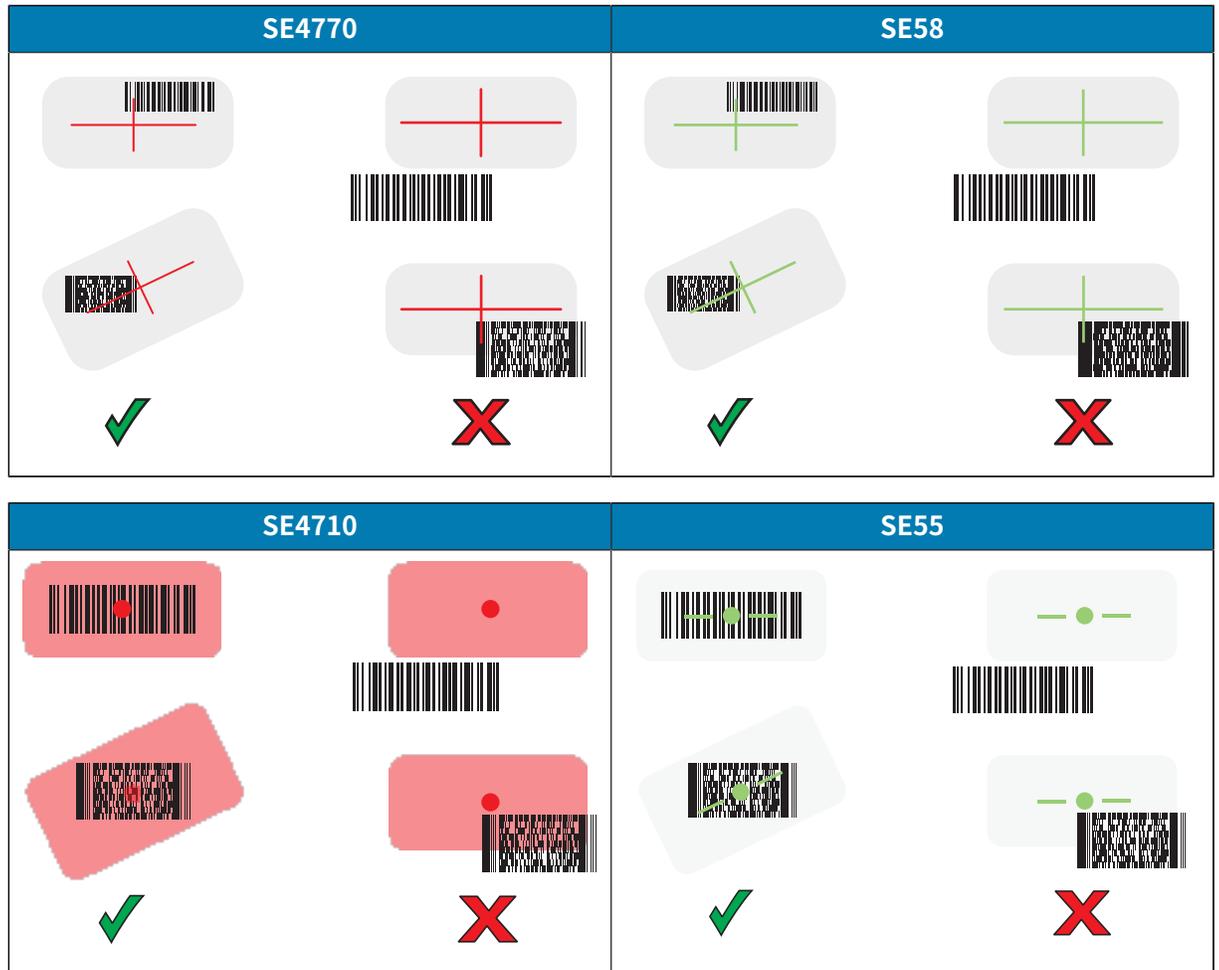
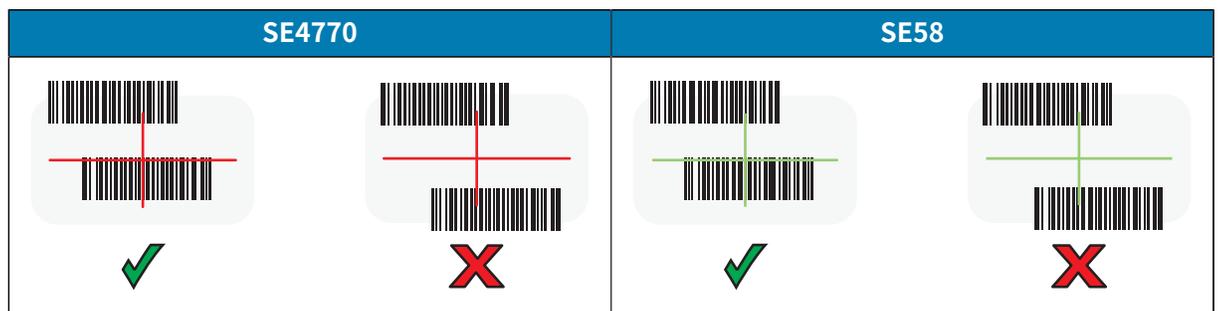
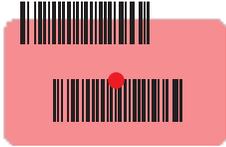
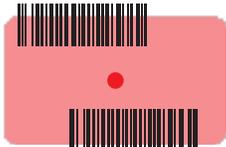


図 17 ピックリスト モード: 照準パターン内に複数のバーコードがある場合



SE4710		SE55	
			
✓	✗	✓	✗

デフォルトでは、データ収集 LED が点灯して、デバイスからビープ音が鳴り、バーコードの読み取りが正常に完了したことを示します。



**注：**精度の悪いまたは読み取りづらいバーコードの場合は、スキャン ボタンを押し続けると、デジタル写真 (画像) を撮影する手順が繰り返されます。

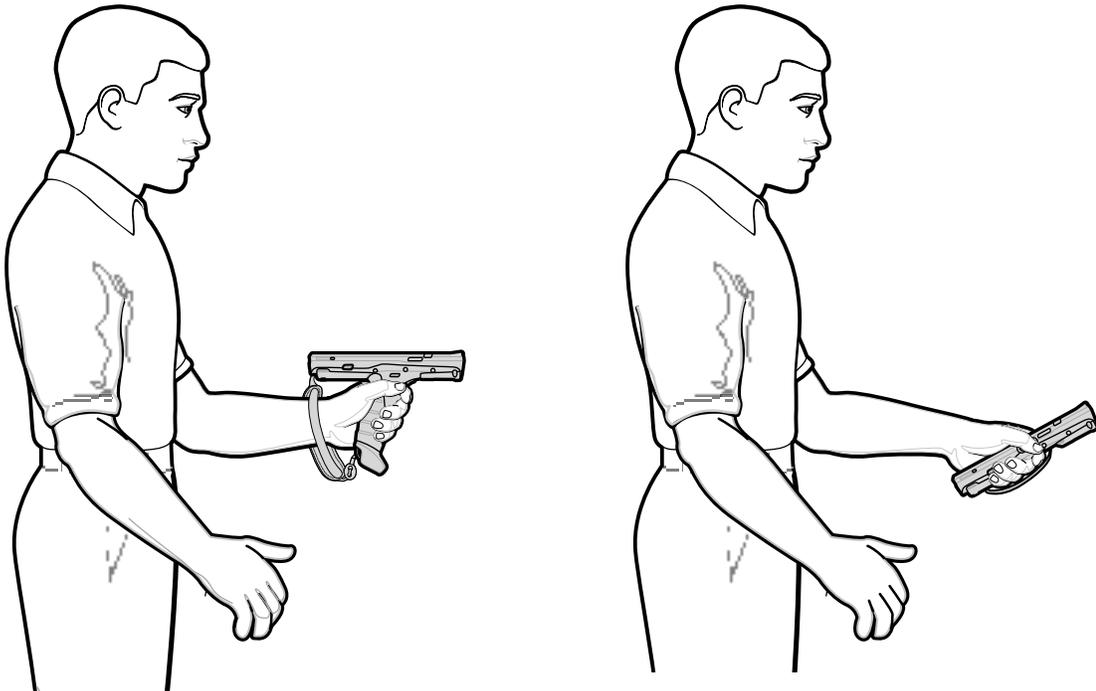
5. スキャン ボタンを放します。

デバイスのテキスト フィールドにバーコード データが表示されます。

## 人間工学的な考慮事項

作業時は適度な休憩を取ることを推奨します。

### 負担がかからない姿勢



スキャン位置が高い場合の最適な姿勢



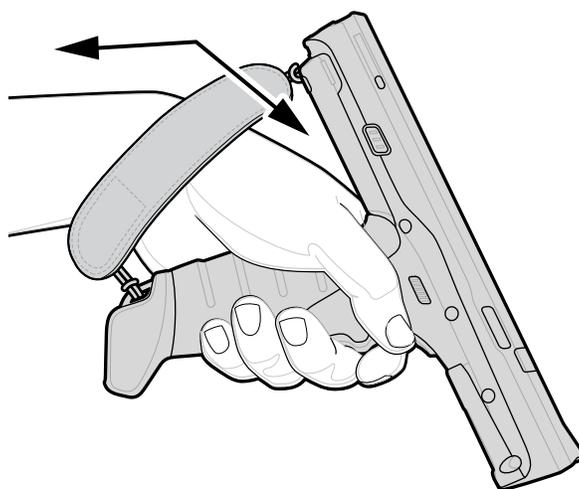
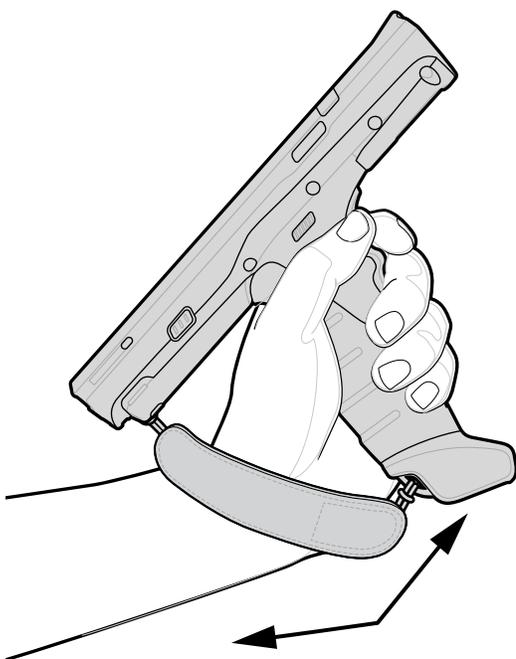
腰を曲げて作業しないでください

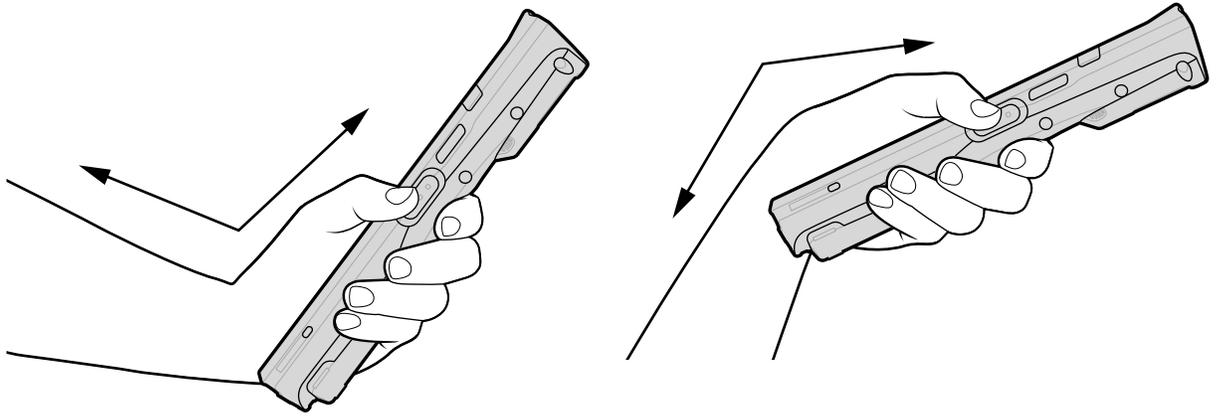


無理に腕を伸ばさないでください



手首を極端に曲げないでください





## サービスに関する情報

Zebra の認定部品を使用した修理サービスは、製造終了後少なくとも 5 年間利用可能です。 [zebra.com/support](https://zebra.com/support) からリクエストしてください。

